

淡江大學 106 學年度第 1 學期課程教學計畫表

課程名稱	日語會話 (四)	授課 教師	清水裕美子 SHIMIZU YUMIKO
	JAPANESE CONVERSATION (IV)		
開課系級	日文四 G	開課 資料	必修 上學期 2學分
	TFJXB4G		
系 ( 所 ) 教育目標			
<p>本系之教育目標在於培育具備以下能力之日語人才：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日語聽、說、讀、寫、譯五項技能。</li> <li>2. 接軌國際之能力。</li> <li>3. 掌握資訊之能力。</li> <li>4. 迎向未來之能力。</li> </ol>			
系 ( 所 ) 核心能力			
<ol style="list-style-type: none"> <li>A. 具備日語聽講的基礎能力。</li> <li>B. 具備日語口語表達、中日口譯的基礎能力。</li> <li>C. 具備閱讀日語書報雜誌的基礎能力。</li> <li>D. 具備日文作文、日文書信及中日筆譯的基礎能力。</li> <li>E. 訓練學生賞析日本文學、名著的基礎能力。</li> <li>F. 理解日本語學、日語教育之基礎理論及研究方法。</li> <li>G. 培育日本歷史、文化、社會的基礎素養。</li> <li>H. 訓練思考判斷的能力。</li> </ol>			
課程簡介	<p>敬語を応用して、ビジネスに対応できるビジネス会話能力を養う。 日本語能力検定試験は大学、大学院への進学が目的。 社会人としての日本語能力には欠ける。 企業が求める人材には、敬語が必要。 ビジネスのさまざまな場面を題材とし、そこでの課題に対して適切なコミュニケーションを行える能力を養う。</p>		

本課程教學目標與目標層級、系(所)核心能力相關性

一、目標層級(選填)：

- (一)「認知」(Cognitive 簡稱C)領域：C1 記憶、C2 瞭解、C3 應用、C4 分析、C5 評鑑、C6 創造
- (二)「技能」(Psychomotor 簡稱P)領域：P1 模仿、P2 機械反應、P3 獨立操作、P4 聯結操作、P5 自動化、P6 創作
- (三)「情意」(Affective 簡稱A)領域：A1 接受、A2 反應、A3 重視、A4 組織、A5 內化、A6 實踐

二、教學目標與「目標層級」、「系(所)核心能力」之相關性：

- (一)請先將課程教學目標分別對應前述之「認知」、「技能」與「情意」的各目標層級，惟單項教學目標僅能對應C、P、A其中一項。
- (二)若對應「目標層級」有1~6之多項時，僅填列最高層級即可(例如：認知「目標層級」對應為C3、C5、C6項時，只需填列C6即可，技能與情意目標層級亦同)。
- (三)再依據所訂各項教學目標分別對應其「系(所)核心能力」。單項教學目標若對應「系(所)核心能力」有多項時，則可填列多項「系(所)核心能力」。(例如：「系(所)核心能力」可對應A、AD、BEF時，則均填列。)

序號	教學目標(中文)	教學目標(英文)	相關性	
			目標層級	系(所)核心能力
1	ビジネスシーンに必要な、電話応対、アポイント、謝罪、プレゼンテーションの会話テクニックを身につける。		P6	AB
2	敬語を応用したコミュニケーション		P6	AB
3	敬語を応用したコミュニケーションを自由自在に操る		P6	AB

教學目標之教學方法與評量方法

序號	教學目標	教學方法	評量方法
1	ビジネスシーンに必要な、電話応対、アポイント、謝罪、プレゼンテーションの会話テクニックを身につける。	講述、討論、參訪、問題解決	紙筆測驗、實作、報告、上課表現
2	敬語を応用したコミュニケーション	講述、討論、模擬、實作、參訪、問題解決	紙筆測驗、實作、報告、上課表現
3	敬語を応用したコミュニケーションを自由自在に操る	講述、討論、賞析、模擬、實作、參訪、問題解決	紙筆測驗、實作、報告、上課表現

本課程之設計與教學已融入本校校級基本素養

淡江大學校級基本素養	內涵說明
◆ 全球視野	培養認識國際社會變遷的能力，以更寬廣的視野了解全球化的發展。
◆ 資訊運用	熟悉資訊科技的發展與使用，並能收集、分析和妥適運用資訊。
◆ 洞悉未來	瞭解自我發展、社會脈動和科技發展，以期具備建構未來願景的能力。
◆ 品德倫理	了解為人處事之道，實踐同理心和關懷萬物，反省道德原則的建構並解決道德爭議的難題。
◆ 獨立思考	鼓勵主動觀察和發掘問題，並培養邏輯推理與批判的思考能力。
◇ 樂活健康	注重身心靈和環境的和諧，建立正向健康的生活型態。
◆ 團隊合作	體察人我差異和增進溝通方法，培養資源整合與互相合作共同學習解決問題的能力。
◇ 美學涵養	培養對美的事物之易感性，提升美學鑑賞、表達及創作能力。

授課進度表

週次	日期起訖	內容 (Subject/Topics)	備註
1	106/09/18~ 106/09/24	敬語の復習と練習問題 敬語で自己紹介 聴解練習	
2	106/09/25~ 106/10/01	面接の練習、聴解練習	
3	106/10/02~ 106/10/08	面接の練習、聴解練習	
4	106/10/09~ 106/10/15	電話・伝言、聴解練習	
5	106/10/16~ 106/10/22	電話・伝言、聴解練習	
6	106/10/23~ 106/10/29	アポイント、聴解練習	
7	106/10/30~ 106/11/05	アポイント、聴解練習	
8	106/11/06~ 106/11/12	予約、聴解練習	
9	106/11/13~ 106/11/19		
10	106/11/20~ 106/11/26	期中考試週	
11	106/11/27~ 106/12/03	依頼・受ける・断る、聴解練習	
12	106/12/04~ 106/12/10	依頼・受ける・断る、聴解練習	

13	106/12/11~ 106/12/17	許可・同意を求める、許可・承諾する 聴解練習	
14	106/12/18~ 106/12/24	許可・同意を求める、許可・承諾する 聴解練習	
15	106/12/25~ 106/12/31	お礼・おわび、聴解練習	
16	107/01/01~ 107/01/07	インタビュー、聴解練習	
17	107/01/08~ 107/01/14	インタビュー会話試験	
18	107/01/15~ 107/01/21	期末考試週	
修課應 注意事項	授業を3回以上無断欠席した場合は、学校の規則にのっとり、 落とします。注意しましょう。また、授業中、タブレットPC,携帯電話、パソコン等で 遊んでいる場合、警告をしても改善しない場合、他の学生の迷惑になるので、 教室から出て行ってもらいます。		
教學設備	電腦、投影機		
教材課本	商用日本語會話上下 目黒真美著 (尚昂文化)		
參考書籍	BJTビジネス日本語能力テスト (Business Japanese Proficiency Test、略:BJT) 参 考書、IT業務、電話応対などの会話練習テキスト テレビドラマ、映画、漫画も役に立つ のでどんどん見ましょう。		
批改作業 篇數	篇 (本欄位僅適用於所授課程需批改作業之課程教師填寫)		
學期成績 計算方式	◆出席率： 10.0 % ◆平時評量：30.0 % ◆期中評量：30.0 % ◆期末評量：30.0 % ◆其他〈 〉： %		
備 考	「教學計畫表管理系統」網址： <a href="http://info.ais.tku.edu.tw/csp">http://info.ais.tku.edu.tw/csp</a> 或由教務處 首頁〈網址： <a href="http://www.acad.tku.edu.tw/CS/main.php">http://www.acad.tku.edu.tw/CS/main.php</a> 〉業務連結「教師教學 計畫表上傳下載」進入。 <b>※不法影印是違法的行為。請使用正版教科書，勿不法影印他人著作，以免觸法。</b>		